

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|---------------------------------|-----------------------------------|------------------|--|-----|--------|---------|
| 221422067 | 臨床栄養学 I Clinical Nutrition I | 林明日香 | ✓ | 専門 | 2 | 必修 | 2後期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| この科目は、DP2に記載されている、傷病者や要介護者の栄養管理の基礎知識を理解する。さらに、疾病の治療や栄養・食事支援を目的として、DP3記載の自立した社会人として、個別の疾患や栄養状態に応じた適切な栄養管理を行うための技術を理解する。授業は、栄養ケア・マネジメントの概念、代謝内分泌疾患、肝臓疾患、消化器系疾患、循環器疾患、腎臓疾患を取り上げ、これらの栄養管理について学ぶ。担当教員は教育機関・病院にて管理栄養士を34年間務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある。この授業は臨床経験に即した講義を行う。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 疾患の定義・病因・病態を学ぶ。 ② 栄養食事療法のポイントを学ぶ。 ③ 疾患別の栄養食事指導・生活指導のポイントを学ぶ。 | | | | ① 疾患の定義・病因・病態の特徴を理解している。 ② 栄養食事療法の基本事項を理解し、栄養計画の立案ができる。 ③ 疾病別の栄養食事指導・生活指導のポイントを理解し、栄養指導に反映できる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 主体性を持ちながら授業を聞き、課題を積極的に取り組むことができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | 常に周囲に働きかけながら学習することができる。 | | | | | |
| | 実行力 | 傷病者のために栄養状態の改善につながる方法を実行できる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 自己学習において課題発見をしながら、改善点を見出すことができる。 | | | | | |
| | 計画力 | 計画的に課題を実践し、栄養食事療法の基本を理解できる。 | | | | | |
| | 創造力 | 創造力を発揮しながら、栄養計画を実践できる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 必要に応じて、周囲の人に情報を発信することができる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 傾聴力を発揮しながら、総合的な学びに繋げることができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | 様々な問題に対し柔軟性を発揮しながら、物事に対応できる。 | | | | | |
| | 状況把握力 | 状況把握しながら、栄養管理を実践できる。 | | | | | |
| | 規律性 | 規律性を保ち、期日内に課題を提出することができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | ストレスの状況においても、平常の力を発揮することができる。 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| テキスト：エッセンシャル 臨床栄養学 第9版 佐藤和人 本間健 小松龍史編 医歯薬出版 ワークシート：課題シートをgoogle classroom内に用意します。 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他科目との関連：臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ、臨床栄養学実習、栄養評価管理実習 資格との関連：管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者・監視員、栄養教諭 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| 毎回授業の予習を行い、今まで習った知識を復習で整理しながら授業に臨むこと。 また、この授業は「臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ」「臨床栄養学実習」に繋がる重要な科目となっているため、授業内容が身についているか、小テストで随時確認します。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 遅刻3回は1回欠席扱いとします。 課題は期日内に提出が完了していること。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|-------|------|---------------------------------|--|---|
| 学修成果 | 学期末試験 | 75 | ① | ✓ | 他の科目とのつながりについての重要性を理解しているか確認します。 ポイント： ① 疾患の定義・病因・病態を理解しているか。 ② 栄養食事療法基準を理解しているか。 ③ 個別の栄養食事・生活指導を理解しているか。 社会人基礎力を含め評価し、S：90%以上、A：80～89%、B：70～79%、C：60～69%、F：60%未満として総合的に判定します。 知識の獲得：到達目標の①～③より75% 知識の活用：到達目標の①～③より12% 知識の解決：到達目標の①～③より13% | |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | | | |
| | 学修成果 | 小テスト | 5 | ① | ✓ | 小テストは毎回実施し、知識の定着状況を確認します。 知識の獲得：到達目標の①～③より100% 知識の活用：到達目標の①～③より0% 知識の解決：到達目標の①～③より0% |
| | | | | ② | ✓ | |
| | | | | ③ | ✓ | |
| | | | | | | |
| | | レポート | 10 | ① | ✓ | 授業課題の提出状況と内容から総合的に評価します。 知識の獲得：到達目標の①～③より0% 知識の活用：到達目標の①～③より100% 知識の解決：到達目標の①～③より0% |
| | | | | ② | ✓ | |
| ③ | | | | ✓ | | |
| | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 0 | ① | | | |
| | | | ② | | | |
| | ③ | | | | | |
| | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | （主体性）主体性を保ち授業や課題を積極的に取り組める。 （実行力）傷病者のために栄養状態に繋がる方法を実行できる。 （課題発見力）自己学習において課題発見し、改善点を見出せる。 （創造力）創造力を発揮し、栄養計画を実践できる。 （発信力）必要に応じて、周囲の人に情報を発信できる。 （傾聴力）傾聴力を発揮し、総合的な学びに繋げることができる。 （規律性）規律性を保ち、期日内に課題を提出する等ができる。 | |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|--|
| 疾患の定義・病因・病態の基本を理解し、栄養食事療法で活用できる。また、疾患別栄養管理計画の創意工夫ができる。筆記試験及び社会人基礎力が共に優れている者をS(秀)とする。 | 疾患の定義・病因・病態を理解し、栄養食事療法をひととおり実践できる。また、疾患別栄養管理計画を標準的なレベルまで理解しているものをB(良)とし、十分ではないが課題を期日までに提出し、ほぼ理解できている者をC(可)とする。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|--|---|---|-------|------------------------------|
| 1 | 臨床栄養学の目的 医療制度の基本を学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 臨床栄養学の目的を理解している。 | (予習)学修内容のテキスト項目p327～,p343～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 傾聴力 状況把握力 |
| 2 | 栄養ケア・マネジメントの概念 栄養アセスメントを学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック | 栄養ケア・マネジメントの概要と栄養アセスメントについて理解している。 | (予習)学修内容のテキスト項目p359～,p363～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 主体性 傾聴力 柔軟性 |
| 3 | 栄養補給法の種類と選択 経口栄養法、経腸栄養法、経静脈栄養法の違いを学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 栄養補給法の種類と特徴について理解し、選択できる。 | (予習)学修内容のテキスト項目p403～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 主体性 計画力 傾聴力 |
| 4 | 代謝内分泌疾患① 肥満症、メタボリックシンドローム、痛風の定義・病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック | 肥満症、メタボリックシンドローム、痛風の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習)学修内容のテキスト項目p63～,p79～,p101～,p117～,p75～,p97～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 課題発見力 創造力 |
| 5 | 代謝内分泌疾患② 脂質異常症、動脈硬化性疾患の定義・病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 脂質異常症、動脈硬化症の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習)学修内容のテキスト項目p66～,p86～,p102～,p120～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 課題発見力 創造力 |
| 6 | 肝臓疾患① 急性肝炎、慢性肝炎の定義・病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 急性肝炎、慢性肝炎の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習)学修内容のテキスト項目p36～,p50～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 課題発見力 創造力 |
| 7 | 肝臓疾患② 肝硬変の定義・病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 肝硬変の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習)学修内容のテキスト項目p41～,p51～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 課題発見力 計画力 創造力 |
| 8 | 消化器系疾患① 肝臓、脂肪肝、胆嚢炎、膵炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、胃癌の定義・病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 肝臓、脂肪肝、胆嚢炎、膵炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、胃癌の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習)学修内容のテキスト項目p43～,p55～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 課題発見力 創造力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|--|---|--|-------|---------------------------|
| 9 | 消化器系疾患② 炎症性腸疾患の定義・病態と治療について学ぶ 循環器系疾患① 高血圧症の定義について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 炎症性腸疾患の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 高血圧の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習) 学修内容のテキスト項目p12～, p26～, p104～, p121～を読みまとめる。 (復習) 課題Rシートを整理し、まとめる。 | 180 | 実行力 発信力 |
| 10 | 循環器系疾患② 高血圧症と心疾患の定義・病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 高血圧症と心疾患の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習) 学修内容のテキスト項目p107～, p124～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 実行力 発信力 |
| 11 | 循環器系疾患③ 脳卒中・摂食嚥下障害の病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック | 脳卒中および摂食嚥下障害の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習) 学修内容のテキスト項目p114～, p128～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 実行力 発信力 |
| 12 | 腎臓疾患① 慢性腎臓病 (CKD)、糸球体腎炎の定義・病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 慢性腎臓病 (CKD)、糸球体腎炎の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習) 学修内容のテキスト項目p145～, p159～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 実行力 発信力 |
| 13 | 腎臓疾患② ネフローゼ症候群、腎不全、糖尿病性腎症の定義・病態と透析を含む治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | ネフローゼ症候群、腎不全、糖尿病性腎症の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習) 学修内容のテキスト項目p151～, p167～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 主体性 規律性 |
| 14 | 代謝内分泌疾患① 1型糖尿病、2型糖尿病の定義・病態と治療について学ぶ | 講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック | 糖尿病の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 | (予習) 学修内容のテキスト項目p70～, p91～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 主体性 実行力 規律性 |
| 15 | 代謝内分泌系疾患② 糖尿病性腎症の定義・病態と治療について学ぶ 透析の栄養食事療法の復習 | 講義 google classroomでの課題のフィードバック | 糖尿病性腎症、腎不全の病因・病態と透析を含む栄養食事療法を理解している。 | (予習) 学修内容のテキスト項目p152～, p169～, p155～, p174～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。 | 180 | 主体性 規律性 ストレスコントロール力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力